



LD親の会「けやき」機関紙

第91号

2010年6月発行

発行者・代表 三輪 覚子
けやきホームページ URL

〒198-0014 東京都青梅市大門 1-787-8
<http://www.ne.jp/asahi/hp/keyaki/>

会長挨拶

引き続き会長を務めさせていただくことになりました。前年度からの役員の方々には、無理を承知で留任や再任をお願いし、また、新規に加わってくれた貴重な人材も、本当にお忙しい方々です。多くの皆様のお力添えをいただいて、平成22年度の活動を進めて参ります。一年間、どうぞよろしく願いいたします。

本年度は「心機一転」というスタートではないけれど、これまでの活動を見直し、整理して、次年度にむけて確実に引き継いでいけるようにする一年でありたいと考えています。例えば継続手続きの仕方から、年間を見通しての計画作り、自主活動と全体活動のつながり、広報宣伝や対外部活動の仕方など、そして何より、会員が基本の参加しやすい親の会「けやき」となるために、話し合いを重ねていきたいと考えています。

「役員会」は、会の運営全般を相談する場としていますので、けやき会員ならどなたでも参加することができます。今までは難しそうで、敬遠されがちな印象があったかと思ひ反省していますが、まずは役員会から風通しを良くし、皆の顔が見えて・声が出せて・行ってみたくなるような会にしたいと思っています。どうぞご協力ください。

三輪覚子

7月勉強会のご案内

*今お子さんにつけてあげたい力とは…考え方や情報の整理を通して、将来に生かすための「ヘルプシート」について学びます。

日 時 7月24日(土)・14:00~17:00

場 所 東京都多摩障害者スポーツセンター 2階:第1集会室A・B

◇国立駅南口徒歩20分

◇無料送迎バスあり(所用時間5分)

:無料送迎バス時刻表〔国立駅南口発〕11:00 12:25 13:10

〔谷保駅北口発〕13:30

◇路線バス:立川バスまたは京王バスで「国立高校前」下車

*ご多忙中とは存じますが万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願いいたします。

平成 22 年度・総会開催

本年度の総会が、4月24日（土）多摩障害者スポーツセンターで開催されました。

当日はさわやかな天気にも恵まれ、絶好の総会日和でした。昨年度の報告や本年度の役員選出、活動方針・活動計画等承認され、無事に総会終了。係補助の仕事内容説明と分担決めの後、4グループに分かれ、自己紹介や子どもについての様々な悩みについて交流会を行いました。1グループ6～7名で、子どもを通して親の会ならではの話し合いができ、交流を深め合うことができました。



年間活動計画（予定）

内 容	日 時	場 所
総 会	4月24日(土)13:00~(入会相談 12:00~)	多摩障害者スポーツセンター
例 会	5月15日(土)13:00~ 会員交流	東京しごとセンター
役員会	6月26日(土)14:00~(入会相談 12:00~)	多摩障害者スポーツセンター
勉強会	7月24日(土)「子どものサポートシート」	多摩障害者スポーツセンター
役員会	8月28日(土)14:00~(入会相談 12:00~)	国分寺労政会館
勉強会	9月25日(土)「最新の就職情報を知る」	未 定
役員会	10月23日(土)14:00~(入会相談 12:00~)	〃
講演会	11月27日(土)「発達障害 理解と支援」	〃
役員会	12月25日(土) 14:00~(入会相談 12:00~)	〃
勉強会	1月22日(土) 会員交流	〃
役員会	2月26日(土) 14:00~(入会相談 12:00~)	〃
役員会	3月26日(土) 14:00~(入会相談 12:00~)	〃

※日時・会場は変更する場合があります。

5月・例会報告

5月15日(土)に東京しごとセンター(飯田橋)・研修室にて例会を開催しました。

受付では会員の継続更新手続きも行いましたので、総会に引き続いて「係補助」についての説明と協力をお願いし、会員の皆様に理解をしていただく時間も取りました。

例会内容は、事前の案内では「先輩の体験談」を中心にすすめる予定にしておりましたが、都合のつかない方もあって、急きょ変更し「リフレーミング」を取り上げることになりました。

リフレーミングとは、ある枠組み(フレーム)で捉えられている物事を枠組みをはずして、違う枠組みで見ることを指す。同じ物事でも、人によって見方や感じ方が異なり、ある角度で見たら長所になり、また短所にもなる。(ウィキペディアより)

・・・ということで、日頃の子どもたちの様子から、短所としか思えないような性格を現す言葉をリフレーミングしてみようということになりました。

20名の参加者(当日初めて参加の見学者も一緒に加わってもらい)は、4グループに分かれてリフレーミング・スケールに記入されている「気になる短所」の言葉を、どんな言葉に置き換えたらいいかと意見を出し合い、智恵を出し合いながら、長所となりそうな言葉にして書き込んでいきました。

たぶん全ての参加者の頭の中には、ご自分のお子さんの姿が浮かんでいて、一つずつリフレーミングする度に「ああ～こう言えばいいのか」という納得ともため息?とも取れるような感想が漏れていました。

時間の関係で1グループ15～20文字程度を分担しあいましたので、最後に担当箇所を発表しあってスケールを完成することにしました。例題にない言葉(普段のお子さんに使っている言葉)なども自由に加えて、けやきならではのリフレーミング・スケールとなったようです。



言葉というのは、言い方・伝え方で本当に変わるものですね。気持ちまで違ってきます。参加者の皆さんには、リフレーミングの説明をする前に自分の短所と思う言葉を書き出しておいてから、作業に入っていただきました。スケールが完成したところで、自分の短所をリフレーミングしてもらいましたが、はたして結果は・・・?

■部会紹介■

就労部会

就労部会は、就労について勉強したい方、就労間際の方、就労している方など、様々な目的で、参加しています。内容は、就労情報、自立に関しての取り組みなどしながら、親の交流も必要に感じている方が多いので、

「会員一人ひとりの希望に沿って楽しく学べる事が一番！！」
の方向で活動しています。

今年度は、企業見学や就労に関しての最新情報、お金に関する勉強会など幅広く活動していきたいと思います。

6月8日(火)は、東京学芸大学で研究されている「お金と暮らし」の冊子を元に、我が子のお金に関する悩みや今の状況などをゆっくり話し合いました。7月は、それをもとに更に進んだお話ができるといいと思っています。

☆就労部会は、今現在の事でなく、将来の為に就労や自立を学ぶ姿勢で取り組んでいるのでゆっくり進んでいますが、部会員の困り感にも皆で共有し、応えていきたいと思います。ご興味のある方は、ぜひ一度参加してみませんか？

新堀 (和)

教育部会

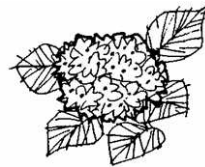
教育部会は、小学校から高校生の親で活動しています。“学校の勉強”“進路”の問題がどうしても主流になりがちですが、小学生・中学生・高校生それぞれのお子さんが持ついいところや困ったところ等を知り、その対処の仕方や知りたい情報を得るにはどうしたらいいのか、ざっくばらんに話し合いながら活動をしています。一人で悩まずに、私たちと一緒に明日の元気を見つけませんか。

今年度は、自主グループ「つくし」さんも一緒に活動をいたします。

6月12日(土)は、メンバーの顔合わせをし、年間計画等話し合いました。

【今年度の活動はこんな事を考えています】

1. テーマを決めて勉強会をする。
2. アドバイザーの講師の方をお招きする。
3. 希望があれば、学校見学をする。 他



☆お子さんの年齢にかかわらず、興味のあるテーマがありましたらお気軽ご参加ください。

小形

■自主グループ紹介■

ポーシ ポーシ

毎月、第2日曜日に国立を中心に集まって「青年の余暇活動」をしています。

子どもたちに「生涯に渡って付き合っていける仲間を作ってあげたい！」という親の思いで立ち上げて、早くも10年が過ぎました。活動当初は、社会経験の少ないLDの子どもたちを中心に色々な経験の場を設け、楽しい時間の中で、子ども同士がお互いを仲間として意識し合えるように、ゲームや遊びの中に共同作業をおり込み、親子で参加してきました。

現在は、メンバー全員が高校を卒業し青年になりました。熱心なボランティアさん方のお力添えもあって、親の関わりを減らし、出来る事は自分たちで活動を進め、外へ出かけることも随分と多くなりました。メンバー同士話し合いで活動毎にリーダーを決め、リーダーは企画や事前調査を行い、ボランティアさんに相談をして活動の下準備をしています。毎回必ず参加される方、年に1～2回参加される方など様々です。少しでも興味のある方は、ご一緒しませんか。見学に来てみてください。

【活動内容・予定】

6月13日(日) 国立福祉会館 小会議室

近況報告、UNOなどのゲーム、今後の活動の検討をしました。

7月 野球観戦(西武ドーム)

8月 山梨県・甲府へ日帰り旅行を予定

詳しいことは、畑までご連絡ください。

おやじの会

例会後の懇親会の企画を中心に活動をしています。
いつでも、会員募集中です。！！
ひとりでも多くのお父さんが参加していただける活動を目指しています。
お母さんも大歓迎です。

藤本



■自主グループ紹介■

キャリア教育講座 Wing

自主グループWingは、3年目に入り一層の充実に向かって走り始めました。現在、中学3年生から高校3年生までの9人が受講しています。

今年度は、就労支援者や企業関係の方々にも講師をお願いしていますので、現場の方々から講座へのアドバイスをいただき、目が覚める思いで講座を進めています。また、講座内容が連続するために3人の講師の方々が、ご自分の受け持つ講座以外にも参加していただき、熱心に取り組んでいただいています。

このような新しい取り組みによって、新たな緊張感があり、子どもたちの参加に対する意識も更に充実するものと期待しています。

【活動内容・予定】

4月11日（日）

◇オリエンテーション

◆神奈川県立保健福祉大学・松為信雄先生のご指導で「オリエンテーション」をテーマに取り組みました。

- ・Wingでは何を学ぶか
- ・4つの領域の中の「人」「情報」とは
- ・自分の将来を考える

というポイントについて学び、受講生たちは各自の今年度の抱負を考え発表することもできました。



5月2日（日）・多摩障害者スポーツセンター

◇実習に向けたスキル習得・「メモを書く」

◆はじめに「メモ」の種類・用途・役割・使い方等を、掲示教材やサンプル資料を使って説明を受け、その後の3つのグループに分かれての作業では、「なぜ働くのか？」というテーマで各自がチェックしたメモをグループの中で発表メモとしてまとめていくという手順を学びました。

6月13日（日）・多摩障害者スポーツセンター

◇実習に向けたスキル習得・「聞き方・伝え方を学ぶ」

◆「聞き方・伝え方を学ぶ」をテーマに、企業面接の場面を想定し、ロールプレイを取り入れながら、「聞く」とはただ耳で聞くことではない。「伝える」とはただ口で言うことではない。相手の話を聞くポイントを知り、自分の言葉で伝えることの大切さについて勉強しました。

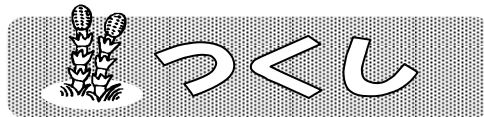
7月4日（日）の予定

◇実習に向けたスキル習得・「職場の報・連・相（ホウレンソウ）」

*今後は、夏の合宿や、LD学会や職リハ学会への参加などに向けて準備を始め
ていく予定です。

新堀(和)

■自主グループ紹介■



「お母さん、さんすうがわからない」
「なんで、みんなはあんなによくわかるんだろう」
「なんでぼくは、みんなのようにすぐにわからないんだろう」
「やっとおぼえた漢字なのに、またあたらしい漢字をおぼえないといけない」
「まるで漢字が、洪水のようにやってくる」
「お勉強ができると、わくわくして小学校に行ったのに、お勉強がわからない」

小学1年に入学して2カ月過ぎたあたりから、息子が泣いて訴えた言葉です。
息子に、認知に偏りがあることに気付かされた出来事でした。

自立に必要な基礎学力を獲得していく力に偏りがあるために、1日の大半を過ごす学校生活で、勉強がわからないままに過ごし、だんだん自信を失っていく姿をこれまで多くの親たちから語られてきました。

*** 「つくし」**は、親たちの話し合いの場です。

今年度は、子どもが学力を獲得していくときに必要な、認知（ものがわかる）のはたらきについて学びあいます。

ご参加お待ちしております。

***内容**

1. 学習のつまづきなど子どもの状態を学びあう。
2. 学校や日常生活での困りごとを出し合い、解決するための方法を見つける。

*** 「つくし」活動予定日時**

1. 6/12（土）10:00～13:00 多摩障害者スポーツセンター
教育部会と合同での交流会
2. 7/24（土）10:00～13:00 多摩障害者スポーツセンター
アドバイザー：新谷博美氏 東村山市教育相談室・相談員（学校心理士）
参加希望者連絡先：mastuo-t@mxw.mesh.ne.jp
3. 9/17（金）10:00～13:00 多摩障害者スポーツセンター
瀧澤



特定非営利活動法人

全国LD親の会 第3回総会開催

6月19日（土）に国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて、
全国LD親の会の総会が開催されました。

正加盟46団体中、出席25・委任状19（合計44）団体により総会は成立し、議案および理事会報告（平成22年度事業計画・収支予算）については賛成多数により承認されましたので、ここに報告いたします。（議決権は各会1名）

【ご苦労様でした】

「けやき」の新堀和子さんは、全国LD親の会の理事や評議員として4年間にわたってご尽力いただき、この度退任となりました。全国レベルでのお仕事に積極的に係わっていただいたことはもちろんですが、「けやき」との架け橋を担って全国の活動の現状や取り組みをわかりやすく教えていただきました。本当にご苦労様でした。

【研修会報告】

総会に引き続いて研修会が行われ、「家族支援～親の障害の受容～」というテーマで、中田洋二郎氏（立正大学）の講演がありました。障害告知については、研究者というだけの立場ではなく、実際に施設での支援に携わっておられた経験から、親の心理も医者も両方を理解した上での事例を示されながらお話し下さいました。受容に至るまでのショックや悲哀は正常なことであり、受容するしないは個人の判断にまかせる。一時期の悲しみと怒りもやがて適応し再起することができるが、そこまでの時間の経過は一人一人違うということを知り易くお話し下さいました。全体を通して親への励ましをいただいたように思います。

本人の障害受容では、「障害名の告知」ではなく、まず本人と周囲との関係でどんな問題が生じているかを整理し、ともに考えることから始める。そのことが周囲にどんな影響を与えるかを知らせ、その影響によって自分にどんな不利益が生じているかを理解させる。その不利益が障害のせいだと思えるようになってはじめて「障害」を理解することができる。親としては、本人にとっての受容はとても難しいこと

であるという前提で、十分に時間を取り、自分への理解を段階を踏んでできるように援助していきたい。本人が自分を尊重する感覚（自尊心）を持っていることが絶対条件で、親が子を「ほめる」ということが大切であるとのお話でした。



三輪

NHKハートフォーラム

第9回 全国LD親の会 公開フォーラム報告

時：6月20日（日）
所：国立オリンピック記念青少年総合センター

——第三部・シンポジウムに参加して考えたこと——

「自立・社会参加に向けて、今やっておくこと」と題して、教育行政、教員、企業、保護者の立場から話題提供がありました。共通していたことは、認知に偏りがある子ども自身が【自分の困り感を知ること】が大事であるということでした。別の言い方は【障害受容】という言葉で表わされていると思います。

自分の困り感に気づき、自分の『出来る事』や『出来ない事』そして『出来ない事』については、『こんな風にやれば(工夫)出来る』とか『他の誰かに手伝ってもらえば(支援があれば)出来る』ことが分かることで、子どもは、自分らしく生きていけるのです。その為には、親は、子どもの成長に合わせた場面に応じた具体的な問いかけや、気づきの目を育てていくことが必要となってきます。

しかし、親もまた、子の困り感に気づいたり、認める事が容易ではないのです。親の会の役割は、そのような親たちの、学びあい気づきあう場でもあると実感しています。

T. T

東京LD親の会連絡会報告

平成22年度東京LD親の会連絡会の総会が4月29日開催されました。

今年度の活動計画

- ①東京都に要望書を提出する。内容は、くじら、にんじん村、けやきが分担して作成することとなり、けやきは産業労働局への要望書を作成することとなった。
- ②昨年度実施した「障害者就労支援機関アンケート調査」のまとめを行う。作業は、各会から数人ずつ参加して行い早急にまとめる。
- ③LD等発達障害の啓発活動として実施している講演会は、平成23年夏季頃に開催する。

会員の皆様へお願い

上記の要望書の作成、アンケート調査のまとめ、講演会の計画と実施等、どれも親の会の活動として大切なものばかりです。ぜひ会員の皆様の積極的なご協力をいただき、大きな成果のあるものにしたいと考えております。渉外係の藤本、新堀または、三輪会長までご連絡をお願いします。

新堀（絃）

散歩道



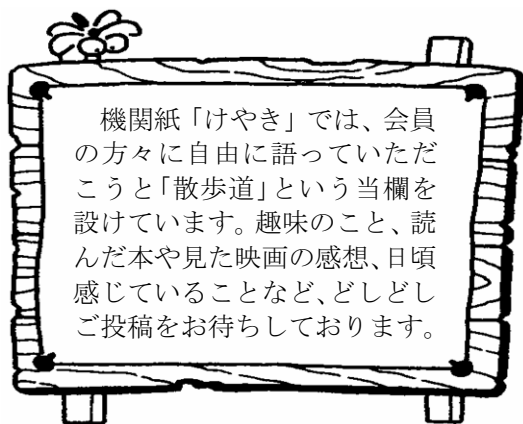
この数日間に、全く違う場所でありながら、全く同じ言葉を耳にするということがあり、これはきっと今の私に向けられた「教示」ではないかと思われてならない出来事でしたので、早速「散歩道」に投稿することにしました。ぜひけやきの皆さんにも知っていただきたいと思ったからです。

そつたく

その言葉とは、「啐啄」です。逃したらまたと得がたい時機という禅の言葉であることは、よく知られているところです。啐は、鶏の卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音。啄は、母鶏が外から殻をかみ破ること（広辞苑より）とあります。禅宗で、師と弟子のはたらきが合致することであり、修行においては師も弟子も大きく飛躍するその機をつかむことだそうです。私にはそれ以上の難しい事はわかりませんし、ましてや修行に興味をわいた訳でもありませんが、例えの中の、雛と母鶏（子と母親）というところに心惹かれたのです。

子どもが成長し、外に向かう時にサイン（つつく音）を出す。親は、そのサインを捉えて行動する。この「サインを捉える」というところが大切なのです。しっかりと聞いていなければわからないような小さな音かもしれない。ましてや殻の中で寝返りを打っただけの音と聞き間違ふことがあってもいけない。口うるさく常に「まだか…早くしろ…」と言っていたら、きっと聞き逃してしまうのでしょうか。

そして何よりも大事なことは、子どもの方が先にサインを出すということで、親は、その時をじっと待つだけということなのです。ただ待てばいいのに、これがなかなか出来なくて、私などは今まで何度反省してきたことか。



機関紙「けやき」では、会員の方々に自由に語っていただく「散歩道」という当欄を設けています。趣味のこと、読んだ本や見た映画の感想、日頃感じていることなど、どしどしご投稿をお待ちしております。

せっかく「啐啄」という言葉を覚えたからには、肝に銘じて過ごしたいと思っています。ただ最近物を忘れることが早くなってきて（これはこれで心配なのですが…）いるので、自分に言い聞かせる意味で書き留めてみました。

S子

お知らせコーナー

◇第16回 NHKハート展 ～あなたの詩を募集しています～

- ◆応募資格 障害のある方。年齢は問いません。
- ◆募集内容 障害のある方を対象に、100字程度の自作の詩です。
- ◆応募締切 平成22年9月7日（火）必着

◇第45回 NHK障害福祉賞 ～障害のある人と支える人の体験記録募集中～

- ◆募集内容 障害のある人自身の体験記録及び障害児・者の教育・福祉に携わり障害のある人とともに歩んでいる人の実践記録を募集しています。
- ◆募集期間 平成22年6月1日（火）～7月31日（土）

◇詳細・問い合わせ

- ◆NHK厚生文化事業団 TEL 03-3476-5955
FAX 03-3476-5956
ホームページ <http://www.npwo.or.jp>

新聞切抜き情報

先行き不透明なので「進路アドバイス難しい」～高2の保護者調査～

●子どもの進路選択へのアドバイス難しいと感じる親が7割

全国高等学校PTA連合会とリクルートの「高校生と保護者の進路に関する意識調査」から、こんな結果が出た。

高校2年生の保護者1,495人らに昨秋調査した。

「難しい」という回答は73%で、2005年の67%、07年の70%と増加傾向だった。

難しい要因は、複数回答で「社会がどうなるか予測がつかない」（62%）がトップ。07年の52%より10ポイントと大幅に増えた。続いて「入試制度など最新の進路情報を知らない」（43%）、「経済的な理由で進路の選択肢を狭めざるを得ない」（32%）「子どもの考えがよく分からない」（18%）など。

高校2年生1,953人にも調査した結果、進路選択で保護者に望むことは、「考えの尊重」（34%）、

「話を聞く」（31%）、「具体的なアドバイス」（30%）。

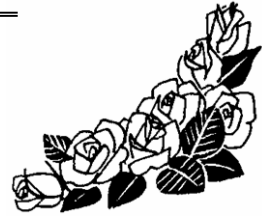
やめてほしいことは「高望み」（33%）、「勉強や成績の話ばかりする」（32%）、「考えの押しつけ」（27%）などだった。 「東京新聞6月1日の記事より」

■お知らせコーナー■

会員の皆様へおねがい

会からのお知らせ（例会案内や機関紙等）は、メール便を利用して皆様にお送りしています。

年度の途中で住所変更された場合は、お手数でもご連絡をお願いいたします。



パノラマ・フォトギャラリー

ラベンダー畑から富士山を望む
カラーでお見せできないのが残念です・・・

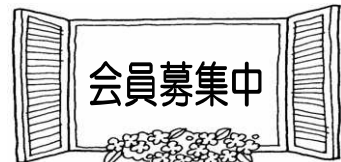
「けやき」では年間を通して新規入会を受付けています

- *入会金 2000円
- *年会費 5500円

総会、例会、役員会の会場に直接お出かけください。

詳しくは、けやきホームページ <http://www.ne.jp/asahi/hp/keyaki/>にてご案内していますのでご覧ください。

*賛助会員、通信会員、ボランティア会員も募集しています。



編集後記

————— 大根のど根性に驚嘆！ —————

今年は、庭の片隅で大根とほうれん草の栽培を始めました。とりあえず有機栽培ということで、見よう見まねでやっています。ほうれん草の方は順調に成長し、おひたしなどにしながら食卓に並べています。大根の方はそろそろ抜き時なのですが、実は本葉が出始めた頃から幼虫にたかられて、油断していたら殆ど葉を食われてしまったものもありました。(写真上)これはもうだめだなと諦めていたのですが、とりあえず追肥して2週間後、なんと立ち直っていました。真ん中からどんどん葉を付けて他の大根と遜色ないくらいに成長しました。(写真下)今更ながら、自然の力はすごいと驚嘆している今日この頃です。

